

漫湖水鳥・湿地センターだより

2004年 第7号

発行：漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会（環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市） 2004年1月20日



題名：カニとあそんだよ

氏名：瀬長 菜奈（とよみ小学校3年）

第1回漫湖絵画コンクール

漫湖大好き大賞

受賞作品



題名：すてきなまんこ

氏名：平田 優子（とよみ小学校4年）



題名：小さな世界

氏名：當間 詩衣菜（仲井真中学校3年）

「年頭のごあいさつ」



新年明けましておめでとうございます。皆様には新春を向かえ益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、漫湖水鳥・湿地センターは去年5月にオープンして以来、昨年末までの来訪者は1万8千名を数えました。この間、各種自然観察会、自然講座、絵画コンクールや、12月のC.W.ニコル氏による講演会などの活動行事にも多くの方に参加していただきました。ご承知のとおり漫湖にはごみ問題など種々の課題がありますが、当センターは地域の貴重な財産である漫湖の自然環境を保全するとともに、賢明な利用(ワイズユース)を行う拠点として、今年も関係機関および団体との連携を図りながら活動していく所存です。引き続き皆様のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

（環境省沖縄奄美地区自然保護事務所長 青山銀三）



漫湖公園野鳥情報



漫湖水鳥瓦版 8

	ダイサギ	チュウサギ	コサギ	アオサギ	オナガガモ	ミサゴ	バン	シロチドリ	メダイチドリ	ムナクロ	タイセン	キョウジョシギ	トウネン	ヒバリシギ	オジロトウネン	ハマシギ	オオハシシギ	アカアシシギ	アオアシシギ
12/4	6	1	2	10	2	3	1	46		27	11		3	3	6	205	2	9	17
12/9	11	1	5	9		1	1	3		2	37		5		1	1		5	46
12/13	4		2	17		1		34	6	111	8	1	3			49	2	15	9
12/24	3	1	4	35		3	1	29	4	101	21		2			3		19	20

<漫湖野外観察ノート>

	イソシギ	オクロシギ	ダイシャクシギ	チュウシャクシギ	ユリカモメ	スクロカモメ	カワセミ
12/4	1	2	6	5	4		
12/9	3		6	13	7	3	
12/13	3		5	3	5	2	
12/24	3		11	6	10	3	1

12月13(土) 小学生と出会い、ミサゴと一緒に観察。ミサゴが魚をとり、子ども達は大喜び。
ユリカモメは、せっかく捕った大きな魚をサギに狙われ、ゆっくり食事ができないでいた。

12月23日(火) オヒルギの種子が赤くなって、かわいい。
アカガシラサギを確認！

12月24日(水) マングースが猫の死体を食べていた。雑食で、何でも食べるマングース・・・。

とよみ大橋からの定点観察より(水鳥のみ)

おもしろ発見！
～管理日誌より～



- 12月2日 センターの芝生をチュウサギが散歩。悠々と歩く姿は、美しい！
- 12月4日 またセンターの芝生をチュウサギが散歩。同じ個体でしょうか？総合学習で来ていた小学生、大喜び！
- 12月5日 ミサゴが落とした魚を食べようと、急いでアオサギが3羽飛んできた。
- 12月17日 久しぶりに漫湖でクロツラヘラサギ1羽を確認。うれしい！
- 12月18日 アオサギがビニールひも付の魚をずっとくわえていた。
クロツラヘラサギ1羽確認。ずっと寝ている・・・。
- 12月26日 オオハシシギが今日も確認された。今月は、オオハシシギの確認回数が多い。今年は当たり年のようだ。うれしい！！動きもジシギのようでかわいい。



シギ・チドリネットワーク
湿地学習コーディネーター養成講座開催

12月5日から7日、当センターを会場に湿地学習コーディネーター養成講座が開催されました。(主催：環境省 事務局：WWF) シギ・チドリネットワーク参加地である千葉県の谷津干潟や東京港野鳥公園など全国6箇所から集まり、湿地における環境教育プログラムを理解し普及するための学習が行われました。

よりよいセンターへ

～活動専門委員会～

12月18日来年度の講座や活動における意見を聞くために、那覇市や県などの関係機関と中村和雄委員(沖縄大学)、高原建二委員(沖縄県立博物館)、馬場繁幸委員(国際生態系マングローブ協会)、藤井晴彦委員(森の家みんな)の皆さんにセンターに集っていただき、活動専門委員会を開きました。

その結果、来年度の活動計画として観察会4回、講座4回を行うことが承認されました。

その他センターをよりよくするための貴重な意見も出されました。私たちスタッフは今後、委員の方々の意見も参考にしながら、改善



できるところから
少しずつ取り組んで
いきたいと思
います。



百舌(もず)が枯れ木で鳴いている、ヤマネは枯れ木で何をしているのかな? 只今気温1℃。

去る11月4日～7日、3泊4日の日程で私は山梨県清里で、環境省主催自然講座「展示」の研修を受ける機会に恵まれました。

これまで、私は展示と言うのは展示する物がどういう意味があるのかも考えず、ただ壁に貼りつけたり飾って

おけばよいという程度でした。

研修で「展示」は、その施設にとって核でなければならないということを学び、深く自分の勉強不足に恥入るばかりです。

『展示は計画的であり、何を伝えたいのか、目的を明確にし、かつ評価されなければならない。』

「よい展示」とは、展示された物事や事象の背後にある意味や関係を来館者にきちんと伝えることができるかということらしい。

展示に何を期待するのか、一度きりの来館者にならないためにも、当センターも新たな展示を来館者と一緒に考え、作り上げていきたいと思うこの頃です。



ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

<団体利用状況 12月>

保育園・幼稚園
オレンジ幼児学園
光幼児学園
ひまわり保育園(2回)
学童・子ども会
ロンロンカタバル子ども会
我那覇子ども会
OMRCエコクラブ
小学校
垣花小学校6年生
とよみ小学校2年生
中学・高校
与那原中学校
三和中学校
神奈川県総合高等学校
大学・専門学校
日本自然環境専門学校
沖縄大学
その他の教育関係
島尻地区校長会視察研修
医療・福祉関係
デイケアーまわし
その他
佐敷町婦人会
いたれりつくせり沖縄周遊3日間 (近畿日本ツアーリスト)
南大東島村会議員
全国シギ・チドリネットワーク研修会

総入館者数

17,970人

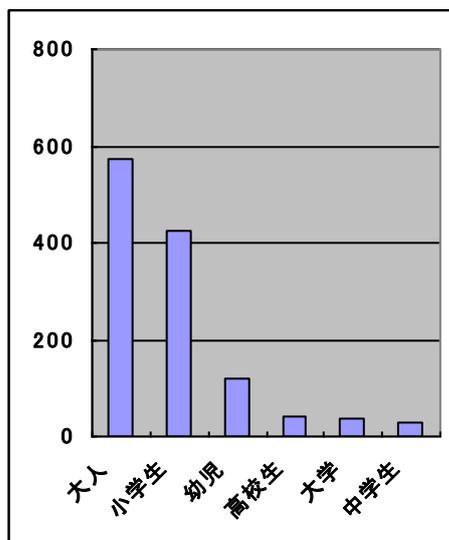


クロツラヘラサギ
のクロン君

12月の入館者数

1,522人 (カウンター数より)

<年代別入館者数>



<市町村別入館者数>

	市町村名	人数
1	那覇市	539
2	豊見城市	223
3	名護市	126
4	糸満市	73
5	浦添市	28
6	その他 (石川・浦添など)	144

うち団体 1,229人を含む

<お詫び> 先月号の入館者等が間違っておりましたので、この場でお詫び申し上げます。

総入館者数 14,783人(誤) → 16,133人(正)

10月の入館者数 1,947人(誤) → 11月の入館者数 1,665人(正)

沖縄の北部では桜が咲き始め、サトウキビの収穫も始まりました。沖縄の風物詩なのでしょうか、それとも冬はもう終わったのでしょうか? 北海道では大雪警報が出ていると言うのに……。日本というのは縦長なために北と南では、気候がまったく違う。生き物もちろん違う。渡り鳥と一緒に日本縦断旅行をしてみたい!



宮城 靖子

< 漫 湖 水 鳥 ・ 湿 地 セ ン タ ー >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/